

梅屋庄吉認知度等調査結果【担当課:文化振興課】

(アンケート期間) 令和3年1月18日～1月31日(14日間)

(調査の目的)

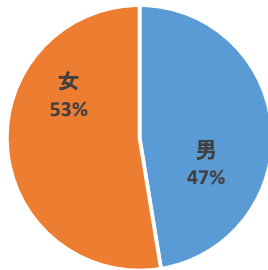
長崎県出身の実業家・梅屋庄吉の県内での認知度を調査し、これまでの取組の検証と今後の施策に役立てるもの

(調査対象) ながさきWEB県政アンケート全モニター338名

(回答状況) 回答者 310名(回答率91.7%)

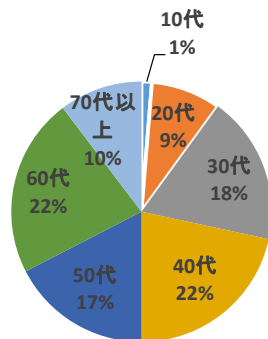
※小数点以下第1位を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

(回答の属性)



男女別

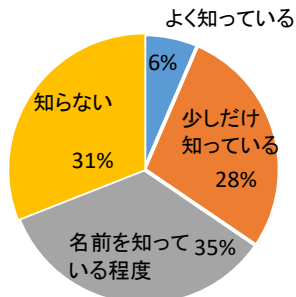
区分	人数	構成比
男	147	47%
女	163	53%
計	310	100%



年齢別

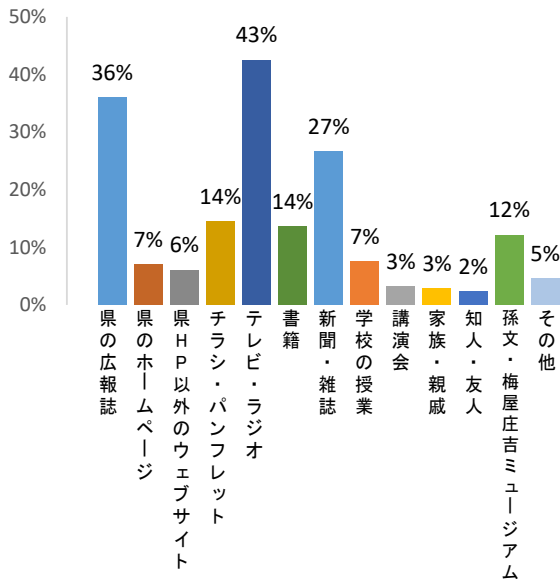
区分	人数	構成比
10代	4	1%
20代	27	9%
30代	57	18%
40代	67	22%
50代	54	17%
60代	69	22%
70代以上	32	10%
計	310	100%

Q1)梅屋庄吉は、中国辛亥革命の指導者・孫文を物心両面で支え続けた長崎県出身の実業家です。梅屋庄吉のことを知っていますか。



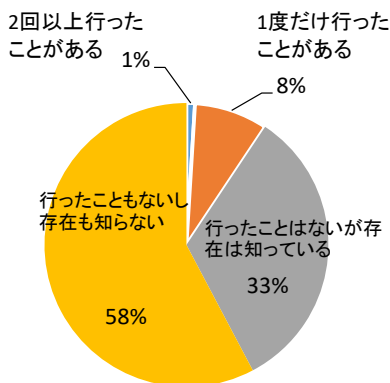
選択肢	回答者数	構成比
1 よく知っている	20	6%
2 少しだけ知っている	87	28%
3 名前を知っている程度	107	35%
4 知らない	96	31%
計	310	100%

Q2)Q1で「知っている」と回答された方にお尋ねします。どこで梅屋庄吉のことを知りましたか(複数回答可)。



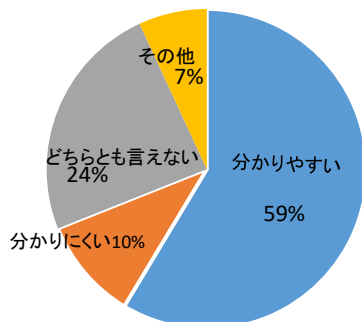
選択肢	回答数	割合
1 県の広報誌	77	36%
2 県のホームページ	15	7%
3 県のホームページ以外のWEBサイト	13	6%
4 チラシ・パンフレット	31	14%
5 テレビ・ラジオ	91	43%
6 書籍	29	14%
7 新聞・雑誌	57	27%
8 学校の授業	16	7%
9 講演会	7	3%
10 家族・親戚	6	3%
11 知人・友人	5	2%
12 孫文・梅屋庄吉ミュージアム	26	12%
13 その他	10	5%
回答対象者	214	—

Q3)県と長崎市は、平成26年4月に「長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム(以下、ミュージアムという。)を長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館に開設しました。ミュージアムへ行ったことがありますか。



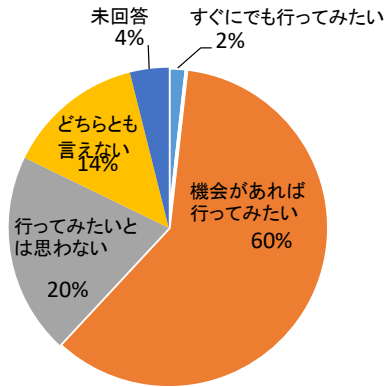
選択肢	回答者数	構成比
1 2回以上行ったことがある	3	1%
2 1度だけ行ったことがある	26	8%
3 行ったことはないが存在は知っている	102	33%
4 行ったこともないし存在も知らない	179	58%
計	310	100%

Q4)Q3で「行ったことがある」と回答した方へお尋ねします。ミュージアムでは、孫文と梅屋庄吉の歴史や日本の近代史における長崎の役割などを紹介していますが、内容は伝わりやすかったですか。



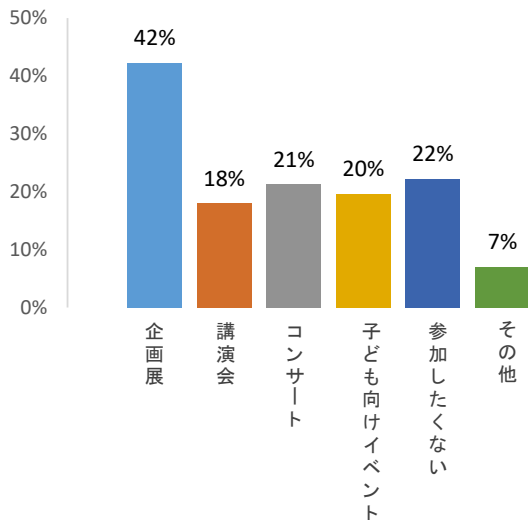
選択肢	回答数	割合
1 分かりやすい	17	59%
2 分かりにくい	3	10%
3 どちらとも言えない	7	24%
4 その他	2	7%
回答対象者	29	100%

Q5)Q3で「行ったことがない」と回答された方にお尋ねします。ミュージアムは、これまでにない設備（一部の展示ケースをタッチパネル式とし、アニメーションなどを通じて展示資料を分かりやすく解説。また、3つの体験コーナーを設置。）を整備していますが、今後行ってみたいと思いますか。



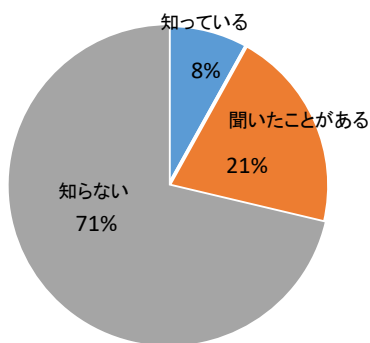
選択肢	回答数	割合
1 すぐにでも行ってみたい	5	2%
2 機会があれば行ってみたい	169	60%
3 行ってみたいとは思わない	57	20%
4 どちらとも言えない	39	14%
5 未回答	11	4%
回答対象者	281	100%

Q6)県では、孫文や梅屋庄吉の生誕日などの記念日が集中する11月を「孫文・梅屋庄吉友情月間」と定めて、様々な取組を行っています。どのようなイベントであれば参加したいと思いますか(複数回答可)。



1 孫文と梅屋庄吉に関する企画展	131	42%
2 孫文と梅屋庄吉に関する講演会	56	18%
3 ミュージシャンによるコンサート	66	21%
4 子ども向けの切り絵、宝探しなどのイベント	61	20%
5 参加したくない	69	22%
6 その他	22	7%
回答対象者	310	—

Q7)中国とゆかりの深い長崎県は、辛亥革命はじまりの地である中国湖北省と平成23年(2011)に友好交流協定を締結しましたが、このことをご存知ですか。



選択肢	回答数	割合
1 知っている	25	8%
2 聞いたことがある	64	21%
3 知らない	221	71%
計	310	100%

Q8)その他、「孫文・梅屋庄吉と長崎」プロジェクトに関するご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

(主な意見)

・ネット、オンラインで参加できるものもコロナ禍では必要ではと思います。出かけなくても参加できるものがあつたらいいです。

・人気の若手俳優を使い、ドラマ化して放送したら、若い人にも伝わると思います。

・お孫さんが素敵な方でした。

・県内に及ばず長崎市内でも認知度は低いのではと思う。積極的なアピールを望む。

・長崎市以外に在住の県民にアピールできる何かが欠けている気がします。

・具体的な場所とできごとを結び付けた展示など

・子供が参加したい魅力的なイベントがあれば、ファミリー限定になりますが時間を作って参加しようとするので、是非頑張ってイベントを盛り上げてください。

大人だけで盛り上げたいなら、食のイベントが集まりやすいです。

例えば、梅屋庄吉さんの好きだったお酒があれば、利き酒大会、餃子なら長崎のお店のブースが連なって餃子フェスとか…。このような取り組みは梅屋庄吉さんを身近に感じられると思います。

・孫文や中国とのかかわりより、梅屋庄吉が日本のために行ったことをもっと知りたい。

・孫文や梅屋庄吉についてあまり存じていないため興味が一切湧かない。梅屋庄吉については名前も初めて聞いた。何をした人物かも分からないので、プロジェクト以前に県民の目に触れる広報誌等でまず特集を組んで、どういった人物か、歴史があるかを県民の目に触れさせることが必要ではないかと思う。

・県民が知るような機会を地方にも与えてください。

・コロナ禍でも、密にならないような企画は続けてほしい。

・歴史を知ることは大事だと思います。

・概要は歴史の授業で習ったことがあるが、大人になった今はなかなか機会がない人も多いと思うので、アニメや漫画など、はやりやすいものがあればいいかもしれないです。

・長崎市内の人は知っているかもしれないけど、市外の人ほとんど知らないことのような気がしました。

・まだまだ広報、発信が弱いような気がします。もっと長崎の歴史上の人物について県と市は取り上げてもらいたい。

・梅屋庄吉だけではインパクトが弱いので、中国関連のランタンなどと組み合わせた催しが必要である。

・この二人がなぜ知り合ったのかを知りたいです。

・県内の公共図書館や学校図書館で企画展を開催してほしい。

・台湾や孫文に興味がある人や台湾産の輸入品等を広報してファンを巻き込んで関心を高めていくべきである。

・長崎県出身なら、認知してるかも知れないが、県外出身の私にとって、初めて聞く名前です。もっと名前を認知させるようなプロジェクトを希望します。

・長崎県が公費を使って、梅屋庄吉の認知度を挙げようとしている意味がよくわからない。

・Q6に関連しイベントの講演会は、講話だけでなく、政治、経済、学芸各界の著名人によるパネルディスカッションも併せて企画して欲しい。